

博士を取ったらどんないいことあるの？

ー若手教育タスクフォース企画 第2回ー

主催：日本建築学会 企画運営委員会 若手教育タスクフォース

日時：2021年5月21日(金) 13:00～17:30

会場：オンライン (Zoom)

※新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、参加はすべてオンライン (Zoom) に変更しました。

<開催主旨>

若手教育タスクフォースでは、今後の少子化に際し、将来の建築学会(界)を担う若手会員をどのように育成するかを主要課題としている。そこで、「学」を使った働き方検討WGを立ち上げ、より幅広い建築学の普及と若手育成に貢献しようと考えている。

今回、第2回として開催するシンポジウムは、本タスクフォースの主旨を踏まえ、博士取得⇒大学教員という従来思考ではなく、博士を取得し企業に就職した方々あるいは自らが起業され奮闘されている方々を講演者として登壇いただき、博士を取得することのこれからの意義と可能性について話していただくとともに、博士と企業とのマッチングを図る企業の方にも現代社会においてなぜ博士を取得する価値があるのかを説明していただき、「博士を取るメリット」を若い聴講者に理解していただき、博士取得への後押しになるような情報提供の場としたい。

<プログラム (予定) >

- | | |
|------------------------------------|------------------------|
| 1. 若手教育タスクフォースについて | 牧 紀男 (京都大学) |
| 2. 本日の趣旨説明 | 中谷 礼仁 (早稲田大学) |
| 3. 主題解説 | |
| ・ソフト系企業研究所で博士人材に期待されること | 今枝秀二郎(日建総研) |
| ・ハード系企業研究所での研究の広がり | 鈴木 琢也(竹中工務店) |
| ・女性のワークライフバランスと博士号取得 | 古賀 繭子(日本女子大学) |
| ・大学教員から起業家への転身 | 添田 昌志
(人間環境デザイン研究所) |
| ・社会人博士課程から起業家へ、
求人側として博士に期待するもの | 末松 孝司(ベクトル総研) |
| ・なぜ今マッチングがうけるか | 大久保 衛(アカリク) |
| 4. 聴講者を含めた意見交換 | 元結正次郎 (東京工業大学) |
| 5. まとめ | 元結正次郎 (東京工業大学) |

※ なお、講演順番などは当日の状況により変更になる可能性があります。

次ページに続く

参加費：一律 500 円（PDF 版資料含む）

定員：100 名

申込方法：Web 申し込み <https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=644492> より
お申し込みください

※事前クレジット決済のみ（申込み締切 5 月 18 日（火））

問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ 伊佐野

TEL03-3456-2051 E-mail：isano@aij.or.jp

オンライン参加にあたっての注意事項

★会員の方はお申込み時にサインインしたメールアドレス宛に、それ以外の方はお申込み時に入力したメールアドレス宛に、開催数日前にZoomの参加用URL・PDF版資料をお送りします

①視聴にはPCやタブレットなどの端末と、インターネット環境が必要です。通信料は参加者のご負担となります。

②受信映像や講演資料の保存（画面キャプチャ、カメラ撮影等）、録音、再配布は禁止です。

③参加用URL等をシェアすることは固くお断りいたします。各人でお申し込みください。

④録画配信ではございませんので、開催後の視聴はできません。

⑤Zoomの使い方・動作環境についてのご質問にはお答えできません。Zoomのアプリケーションをご利用の場合は、最新版への更新をお願いします。Zoomヘルプセンター (<https://support.zoom.us/hc/ja>) をご参照ください。

⑥参加者の環境やそのときの回線状況により、やむを得ず中断される可能性があります。その場合は本会では責任を負いかねますので、あらかじめご理解のうえお申し込みください。
